

教育目標
やさしい子
挨拶の習慣
かしこい子
家庭学習の習慣
たくましい子
手洗い・正しい姿勢の習慣

学校だより

令和5年6月27日（火）
島原市立第一小学校 No.3

「磨かれた心の鏡」

～地域や地域の人々との関わり～

『心の鏡を磨く人づくり』歴史と伝統ある第一小学校において今まで継承されている教育理念です。「人」とは無論、子どもたちのことですので、その教育理念の成果は、子どもたちの姿に現れるということになります。

今年度150周年を迎える、周囲の多くの注目を浴びるこの機会を好機ととらえ、多くの方々に、子どもたちの「磨かれた心の鏡」の輝きを見ていただきたいと、取り組んでいるところです。

これまで子どもたちは、次のような多くの人たちに出会う機会がありました。

- 1年「せんせいとなかよし」学校の職員に自己紹介をする。
- 2年「まちのすてきをさがそう」地域の自然や人々の様子に関心をもつ。
- 3年「島原城の梅をつかって」女性会の方の協力で梅干しづくりをする。
- 4年「社会科見学」平和・社会科学習に加え公共でのマナー等を身に付ける。
「リトルメリー学習会」リトルメリーの話を通して、平和への願いを知る。
- 5年「高齢者福祉」高齢者福祉施設訪問、認知症キッズサポート講座を受講する。
「夢の教室」夢先生（元バスケ選手）が様々な苦難を乗り切った話を聞く。
- 6年「ジオパーク学習」ゲストティーチャーの話等の情報をもとにまとめる。

今年度は、高齢者福祉施設を実際に訪問できたり、長崎へ行って平和学習ができたりするなどコロナ感染症5類移行にともない、活動の幅も広まりました。

先日、5年間『心の鏡』を磨いてきた6年の子どもたちが「ジオパーク学習」で話をしてくれた方から「大変すばらしい子どもたちですね。」とお褒めの言葉をいただきました。5年の子どもたちにも「夢の教室」「高齢者福祉」の学習において、同様に、関わった方々が感動されていました。「あいさつ・返事」から始まり、「話を聞く態度、姿勢」など、これまで、子どもたちが取り組んできたことが、その方々に伝わったものと、大変うれしく思いました。今後も、子どもたちの良さが伝わるよう、『心の鏡』に磨きをかけていきたいと思います。

「読み聞かせを通した人々との関わり」

～図書ボランティアの皆様に感謝します。～

6月9日（金）図書ボランティアの皆さんによる第1回目読み聞かせが行われました。今年度から取り組んでいる「立腰」のあとに読み聞かせがありましたが、参加していただいた図書ボランティアの皆さんにも好評であったと聞いています。

今年も23名の皆さんに読み聞かせや環境整備などのお世話をいただきます。地域ボランティアの方も4名もいらっしゃいます。本当にありがとうございます。

図書ボランティアの方々との関わりを通して、子どもたちが本の世界から心の栄養を吸収し、豊かな心を育んでいくと思っています。